

| | | | | | | |
|------|-------------|-----------------------|-------|--------|---------------------------------|-----|
| 事業番号 | 03 03 01 | 事業改善シート（令和 8 年度実施事業分） | ■当初要求 | □当初予算案 | □補正予算案 | □点検 |
| 事業名 | コンプライアンスの推進 | 部局 | 総務部 | 課・室 | コンプライアンス・行政経営課 | |
| | | 実施期間 | H27 ～ | E-mail | comp-gyosei @ pref.nagano.lg.jp | |

1 現状と課題

- ・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、業務の進捗状況や、ミスを含めた仕事上の不安を隠せず相談できる、風通しのよい職場環境づくりに向けた一層の取組が必要。
- ・不適正な事務処理を防止するため、内部統制制度について管理監督者を含む全職員が制度を理解し適切に運用することが必要。

2 事業目的

- ・法令に基づく業務執行を基本としつつ、単なる法令遵守という受け身の姿勢に留まらず、社会の環境変化に敏感に対応し、必要ならばルール自体の見直しに柔軟に取り組むことにより、県民や社会からの要請に的確に応えることができる組織を目指す。
- ・「県民起点」のコンプライアンス意識改革、風通しのよい対話にあふれた組織づくり、適正な事務処理のための仕組みづくりの一体的な取組により、県民の信頼と期待に応えることができる組織を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①コンプライアンス意識改革の取組（コンプライアンスの推進）
- ・コンプライアンス推進及び組織風土改革に向けた、行政経営理念の浸透をテーマとした研修の開催（部局長・課室長を対象としたグループワーク）。
 - ・コンプライアンス推進月間において全所属で不適切事案の共有と自己点検を集中的に実施。
- ②風通しのよい、安心して働ける職場環境づくりの取組（ハラスメントの防止）
- ・管理監督職員を対象としたハラスメント防止研修や、外部の専門家を講師としたハラスメント防止研修の開催。
 - ・カスタマーハラスメントを想定した県民対応研修や、組織的な対応を学ぶ実践研修の開催。
 - ・相談専用電話や職員相談員による個別のハラスメント事案への対応。
（ハラスメント相談件数 R4:15件 R5:20件 R6:51件）
- ③内部統制制度の運用によるリスクマネジメントの実効性向上
- ・全所属による内部統制制度の確実な運用と、不適切事案の的確な把握及び積極的な情報共有による再発防止。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

| No. | 指標名 | 単位 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 達成状況 | 目標値設定理由 |
|-----|-------------------------------------|----|------|-------|-------|------|------|---|
| | | | 実績 | 実績 推移 | 見込 推移 | 目標値 | | |
| ① | 実施する各研修において、アンケートで「理解できた」と回答した職員の割合 | % | 96 | 97 ↗ | 94 ↘ | 95 | | 研修のアウトカム指標として理解度を設定し、概ね全ての参加者が理解できたといえる95%を目標とする。 |
| ②③ | 指標なし | - | - | - | - | - | | - |

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

| No. | 施策分野（施策の総合的展開名） | 達成目標（☆印は主要目標） | 単位 | 直近3か年/年度分の状況 | | | | | | 目標 | |
|-----|-----------------|---------------|----|--------------|----|------|----|------|----|------|----|
| | | | | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 |
| | | | | | | | | | | | |

6 事業コスト

（単位：千円、人）

| 区分 | | 予算額 | | | | | 決算額 | 職員数 |
|------|-----|-------|----------|-------|----------|--------|-------|-----|
| | | 前年度繰越 | 当初予算 | 補正予算等 | 合計（予算現額） | うち一般財源 | | |
| R8年度 | 予算案 | | 2月上旬公表予定 | | 0 | 0 | | 4.0 |
| | 要求 | | 3,058 | | 3,058 | 3,058 | | |
| R7年度 | | 0 | 2,736 | 0 | 2,736 | 2,736 | | 4.0 |
| R6年度 | | 0 | 5,015 | 0 | 5,015 | 4,999 | 4,622 | 3.8 |

| | | | | | | |
|------|-------------|-------------------|----|-------------------------|-----|----------------|
| 事業番号 | 03 03 01 | 細事業一覧（令和8年度実施事業分） | | ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検 | | |
| 事業名 | コンプライアンスの推進 | | 部局 | 総務部 | 課・室 | コンプライアンス・行政経営課 |

| 細事業 No. | 細事業名 | | R6年度 当初予算 | R7年度 当初予算 | R8年度 当初予算 |
|------------|--|------|--|--------------|--------------------------------|
| 1 | 「県民起点」のコンプライアンス意識改革 | | 4,340 千円 | 1,330 千円 | 予算案 2月上旬公表予定 要求 1,727 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | コンプライアンス推進本部会議の開催 （コンプライアンス推進参与の任用） | 直接 | 全部局長で構成する本部会議を開催し、コンプライアンス意識改革や行政経営理念の浸透を推進する。助言・指導を受けるため、コンプライアンス推進参与を任命する。 推進本部会議 3 回 | | |
| 2 | 職員研修の実施 （コンプライアンス研修） | 直接 | コンプライアンス推進参与による管理監督者等に対するコンプライアンス研修を実施する。 本庁課室長研修 2 回 | | |
| 3 | コンプライアンス推進月間の実施 | 直接 | 全庁で一定の期間を推進月間として設定し、不適切事案の共有や自己点検等の取組を集中的に実施する。 全所属での推進月間の取組実施 | | |

| 細事業 No. | 細事業名 | | R6年度 当初予算 | R7年度 当初予算 | R8年度 当初予算 |
|------------|--------------------------------|------|--|--------------|--------------------------------|
| 2 | 安心して働ける職場環境づくり（ハラスメント対策） | | 675 千円 | 1,142 千円 | 予算案 2月上旬公表予定 要求 1,067 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | ハラスメント防止対策の実施 | 直接 | 相談専用電話や、専門研修を受講した職員相談員による個別対応を実施する。 | | |
| | | | 相談専用電話の設置 | | |
| 2 | 職員研修の実施 （ハラスメント防止研修） | 直接 | ハラスメントの防止のため、管理監督職員を対象とした外部の専門家による研修を実施する。 | | |
| | | | 年2回、本庁、各回3時間 | | |
| 3 | カスタマーハラスメント職員研修の実施 （県民対応研修） | 直接 | カスタマーハラスメント対応の基礎知識等の研修会を開催する。 | | |
| | | | 年2回、本庁、各回3時間 | | |

| 細事業 No. | 細事業名 | | R6年度 当初予算 | R7年度 当初予算 | R8年度 当初予算 |
|------------|-------------------------------|------|---|--------------|------------------------------|
| 3 | 内部統制制度等による適正な事務の遂行（リスクマネジメント） | | — 千円 | 264 千円 | 予算案 2月上旬公表予定 要求 264 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | 内部統制制度の運用 | 直接 | 全所属において内部統制制度を確実に運用するとともに、不適切事案の的確な把握及び積極的な情報共有により再発防止を徹底する。 全所属でのリスク評価の実施。高リスク業務の行動計画策定と対策の実施 | | |
| 2 | シグナルフラッグ（公益通報制度）の運用 | 直接 | 不適正な事務処理等の通報を受け付け、公益通報推進幹による調査、公益通報委員会（外部）への意見聴取、知事への報告等を行う。 通報窓口の設置、調査の実施 | | |